

大阪府工業指数2022年12月【速報】

毎月の生産・出荷・在庫の推移

1 概況

(1) 生産指数…92.1 前月比▲2.7% 2か月ぶりの低下(季節調整済指数)

業種別にみると、輸送機械工業、生産用機械工業など10業種が低下し、化学工業、電気・情報通信機械工業など4業種が上昇した。

品目別にみると、鉄道車両、ショベル系掘削機械等が低下した。

また、前年同月比(原指数)は、▲0.8%と4か月連続の低下となった。

(2) 出荷指数…89.7 前月比▲2.7% 2か月ぶりの低下(季節調整済指数)

業種別にみると、輸送機械工業、電気・情報通信機械工業など9業種が低下し、化学工業、食料品工業など5業種が上昇した。

品目別にみると、鉄道車両、セパレート形エアコン(室外)等が低下した。

また、前年同月比(原指数)は、▲6.0%と4か月連続の低下となった。

(3) 在庫指数…110.4 前月比2.5% 8か月連続の上昇(季節調整済指数)

業種別にみると、化学工業、電気・情報通信機械工業など6業種が上昇し、汎用・業務用機械工業、鉄鋼・非鉄金属工業など7業種が低下した。

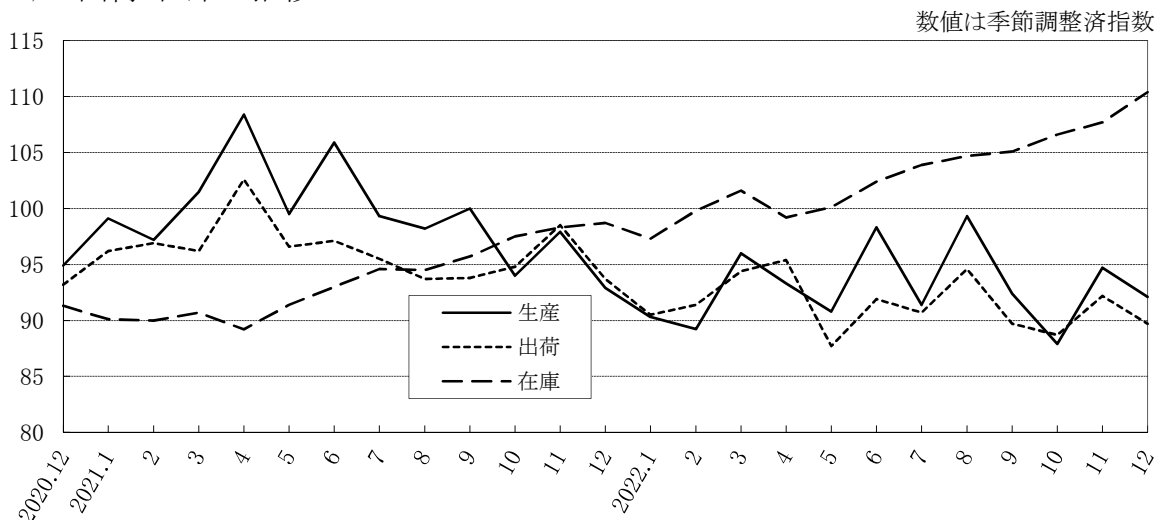
品目別にみると、セパレート形エアコン(室外)、飲料用アルミニウム缶等が上昇した。

また、前年同月比(原指数)は、11.8%と16か月連続の上昇となった。

2015年=100

区 分		季節調整済指数		原 指 数	
			前月比(%)		前年同月比(%)
生 産	2022年11月	94.7	7.7	96.6	▲3.2
	2022年12月	92.1	▲2.7	94.7	▲0.8
出 荷	2022年11月	92.2	3.9	94.4	▲6.3
	2022年12月	89.7	▲2.7	91.2	▲6.0
在 庫	2022年11月	107.7	1.0	107.2	9.6
	2022年12月	110.4	2.5	107.7	11.8

生産・出荷・在庫の推移



2 業種分類別・品目別動向(寄与度順)

(1)生産

前月比

▲ 2.7%

上昇 4業種
低下 10業種
横ばい 0業種

計 14業種

区分	業種分類	寄与度	前月比(%)	主な品目
上昇	化学工業	0.505	2.2	医薬品、アンモニア
	電気・情報通信機械工業	0.298	2.7	セパレート形エアコン(室外)、開閉制御装置
	プラスチック製品工業	0.155	4.1	プラスチック製容器(中空成形)、プラスチック製機械器具部品
	石油・石炭製品工業	0.015	1.2	灯油、軽油
	その他の上昇した品目			
低下	輸送機械工業	▲0.772	▲12.2	鉄道車両、電動アシスト自転車
	生産用機械工業	▲0.561	▲4.3	ショベル系掘削機械、装輪式トラクタ
	汎用・業務用機械工業	▲0.518	▲6.6	汎用内燃機関、冷凍・冷蔵ユニット(除、輸送機械用)
	金属製品工業	▲0.220	▲2.6	橋りょう、電気溶接棒
	電子部品・デバイス工業	▲0.161	▲17.5	アクティブ型液晶パネル
	窯業・土石製品工業	▲0.084	▲5.2	無アルカリガラス基板、ファインセラミックス(構造材)
	パルプ・紙・紙加工品工業	▲0.029	▲1.9	段ボール原紙
	食料品工業	▲0.019	▲0.2	砂糖、ウイスキー
	鉄鋼・非鉄金属工業	▲0.017	▲0.2	鉄鋼切断品、アルミニウムはく
	その他工業	▲0.008	▲0.1	工業用ゴム製品、綿糸
その他の低下した品目				アーク溶接機【電気・情報通信機械工業】 機械プレス【生産用機械工業】

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

寄与度上位10品目

区分	順位	品目	業種分類
上昇	1	医薬品	化学工業
	2	鉄道車両部品	輸送機械工業
	3	セパレート形エアコン(室外)	電気・情報通信機械工業
	4	化学機械	生産用機械工業
	5	産業用アルミニウム製品	金属製品工業
	6	ベンディングマシン	生産用機械工業
	7	開閉制御装置	電気・情報通信機械工業
	8	飲料用アルミニウム缶	金属製品工業
	9	食用油脂	食料品工業
	10	木製家具	その他工業
低下	1	鉄道車両	輸送機械工業
	2	ショベル系掘削機械	生産用機械工業
	3	汎用内燃機関	汎用・業務用機械工業
	4	アーク溶接機	電気・情報通信機械工業
	5	装輪式トラクタ	生産用機械工業
	6	機械プレス	生産用機械工業
	7	アクティブ型液晶パネル	電子部品・デバイス工業
	8	橋りょう	金属製品工業
	9	フルオロカーボン	化学工業
	10	冷凍・冷蔵ユニット(除、輸送機械用)	汎用・業務用機械工業

(2)出荷

前月比

▲ 2.7%

上昇 5 業種
 低下 9 業種
 横ばい 0 業種

計 14 業種

区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	化学工業	1.053	7.7	医薬品、フェノール
	食料品工業	0.170	2.1	ビール・発泡酒、新ジャンルビール
	プラスチック製品工業	0.098	2.5	プラスチック製容器(中空成形)、プラスチック製建材
	石油・石炭製品工業	0.042	0.5	軽油、重油
	電子部品・デバイス工業	0.005	0.9	電子回路基板
	その他の上昇した品目			鉄道車両部品【輸送機械工業】 化学機械【生産用機械工業】
低下	輸送機械工業	▲1.078	▲12.8	鉄道車両、軽乗用車
	電気・情報通信機械工業	▲0.345	▲4.4	セパレート形エアコン(室外)、アーク溶接機
	金属製品工業	▲0.339	▲3.7	橋りょう、鉄塔
	生産用機械工業	▲0.210	▲1.8	ショベル系掘削機械、装輪式トラクタ
	鉄鋼・非鉄金属工業	▲0.116	▲1.0	普通鋼小形棒鋼、伸銅製品
	窯業・土石製品工業	▲0.106	▲7.9	無アルカリガラス基板、ファインセラミックス(構造材)
	その他工業	▲0.081	▲1.5	ニット製繊維製品(下着・補整着・寝着類・靴下) 金属製家具
	汎用・業務用機械工業	▲0.062	▲0.9	汎用内燃機関、チリングユニット
	パルプ・紙・紙加工品工業	▲0.003	▲0.2	衛生用紙
		その他の低下した品目		

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

(3)在庫

前月比

2.5%

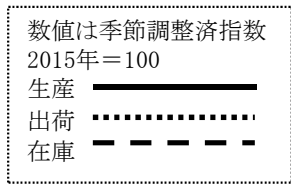
上昇 6 業種
 低下 7 業種
 横ばい 0 業種

計 13 業種

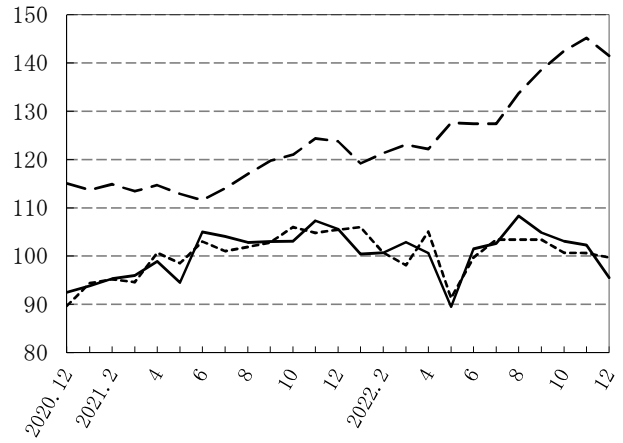
区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	化学工業	0.927	5.7	フルオロカーボン、ふっ素樹脂
	電気・情報通信機械工業	0.850	4.3	セパレート形エアコン(室外)、乾電池
	金属製品工業	0.759	7.5	飲料用アルミニウム缶、産業用アルミニウム製品
	輸送機械工業	0.172	11.6	電動アシスト自転車
	食料品工業	0.068	1.8	食用油脂
	窯業・土石製品工業	0.006	0.5	安全ガラス、無アルカリガラス基板
	その他の上昇した品目			蛍光灯【電気・情報通信機械工業】 パッケージ形エアコン【汎用・業務用機械工業】
低下	汎用・業務用機械工業	▲0.298	▲2.5	汎用内燃機関、ポンプ
	鉄鋼・非鉄金属工業	▲0.144	▲0.7	鋼半製品、アルミニウムはく
	生産用機械工業	▲0.119	▲5.9	装輪式トラクタ
	パルプ・紙・紙加工品工業	▲0.095	▲6.1	段ボール原紙
	石油・石炭製品工業	▲0.062	▲2.3	重油、ガソリン
	プラスチック製品工業	▲0.027	▲0.8	プラスチック製継手、プラスチック製機械器具部品
	その他工業	▲0.013	▲0.2	タフテッドカーペット、マーキングペン
	その他の低下した品目			アンモニア【化学工業】 LED器具(除.自動車用)【電気・情報通信機械工業】

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

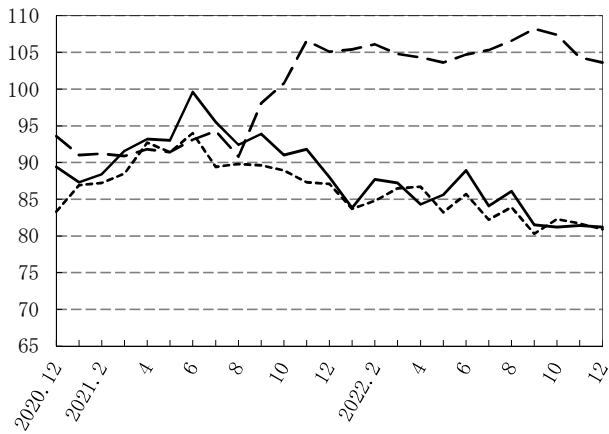
3 業種分類別の推移



汎用・業務用機械工業



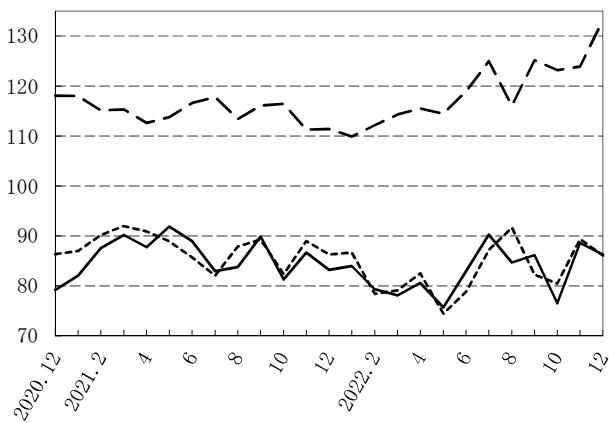
鉄鋼・非鉄金属工業



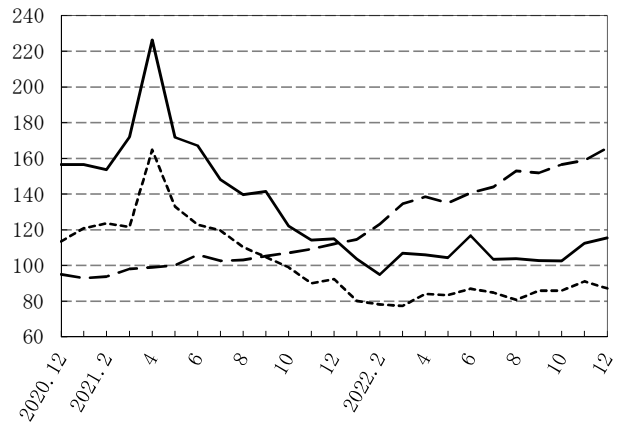
電子部品・デバイス工業



金属製品工業



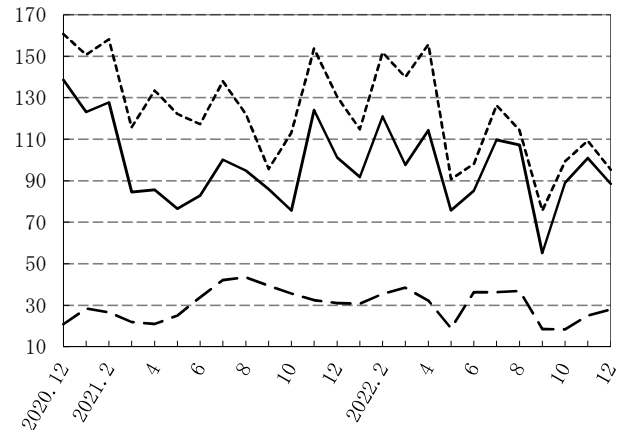
電気・情報通信機械工業



生産用機械工業



輸送機械工業



窯業・土石製品工業



パルプ・紙・紙加工品工業



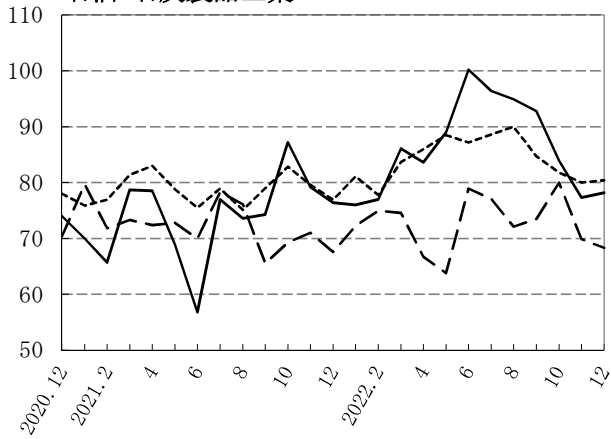
化学工業



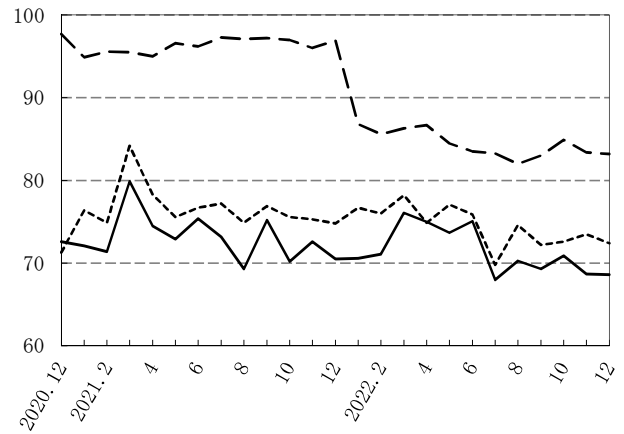
食品工業



石油・石炭製品工業



その他工業



プラスチック製品工業



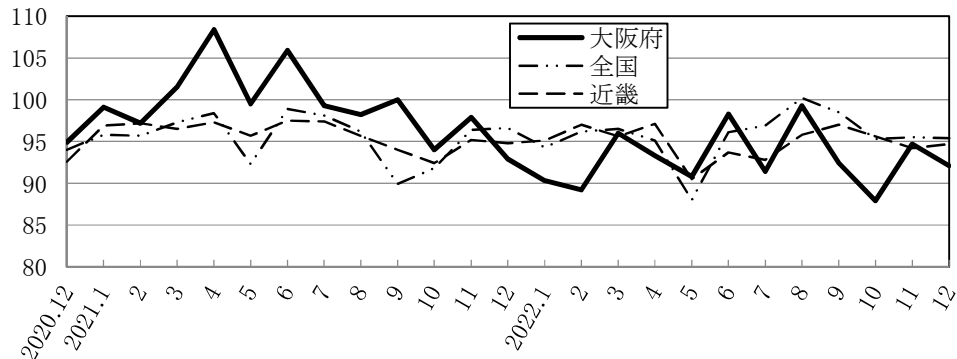
4 全国・近畿の状況(速報)

2015年=100

	大阪府		全国		近畿	
	季節調整済指数	前月比(%)	季節調整済指数	前月比(%)	季節調整済指数	前月比(%)
生産	92.1	▲ 2.7	95.4	▲ 0.1	94.7	0.5
出荷	89.7	▲ 2.7	92.7	▲ 0.7	93.7	0.1
在庫	110.4	2.5	103.1	▲ 0.5	105.4	▲ 1.8

注:「全国」は経済産業省、「近畿」は近畿経済産業局が、それぞれ公表したもの

生産指数の推移



1 基準年

基準時及びウェイト算定年は、2015年(平成27年)です。

2015年(平成27年)基準の指数値は、平成31年1月速報(2019年3月29日公表)から公表しています。

2 数値・符号

(1)掲載している指数値は、当月は速報値、前月は確報値です。

(2)本文中及び統計表等で用いる符号については、次のとおりです。

「▲」…… 負数であることを示す。

3 季節調整

原指数には季節変動(操業日数や決算時期による生産増減、気候や社会風習(中元、歳暮など)による需給変動など1年間でほぼ規則的に繰り返される動き)が含まれており、原指数から季節変動分を除去したものを季節調整済指数といいます。

前年同月比や年単位の動向をみる場合には原指数、前月比や足下の動向をみる場合には季節調整済指数を利用します。

4 寄与度

ある業種(品目)の増減が業種(品目)トータルでの生産指数、出荷指数、在庫指数の伸び率を何ポイント押し上げ(押し下げ)ているかを示す数値です。

$$\text{寄与度} = \frac{\text{今月のA業種(品目)の指数} - \text{前月のA業種(品目)の指数}}{\text{前月の業種(品目)トータルの指数}} \times \frac{\text{A業種(品目)のウェイト}}{\text{業種(品目)トータルのウェイト}} \times 100$$

※経済産業省生産動態統計調査など指数値の計算に利用するデータについて、

2021年の実数値が補正されたため、同年の指数値を補正しました(年間補正)。

2022年7月速報(2022年9月30日公表)から補正後の指数値を用いています。

年間補正は毎年実施しますので、2022年1月以降の指数値も今後変わることがあります。

▼詳細な統計データや工業指数については、大阪府ホームページをご覧ください。

大阪府ホームページ「大阪府工業指数」 <https://www.pref.osaka.lg.jp/toukei/iip/>

▼本資料についての問合せは下記へお願いします。

大阪府総務部統計課 情報企画グループ 工業指数担当 TEL:06(6210)9195(直通)